

静岡県立富士高等学校

令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	●「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 87.2% 保護者 70.8%	B	ICT活用の授業を推進し、タブレットや視聴覚教材の使用等、授業改善を心掛けることで、生徒の学習意欲を促すことができた。公開授業などを通して、広く授業を見てもらう機会を増やしたい。
		●「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100%	100.0%	A	全教員が授業改善に取り組んでいる。次年度も授業アンケートや授業研究を実施していく。
		●「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100%	100.0%	A	タブレットを職員一人一人に持たせることで効果が出た。ロイノートやClassiで活用した資料の共有やリユースなど、さらなる充実のためにできることを検討したい。
		●「主体的に学習に取り組んでいる」と肯定する生徒・保護者 85%以上	生徒 78.9% 保護者 86.9%	B	生徒が主体的に学習に取り組めるように、探究活動やそのスキルを使って、すべての教科に共通する姿勢を身に付けることができるような仕掛けやプログラムを工夫していきたい。
		●「学校は生徒の学力向上に努力している」と肯定する生徒・保護者 80%以上	生徒 91.3% 保護者 87.3%	A	学力向上を図るため、授業を中心に、ICT等も活用しながら各教科で工夫した結果、生徒・保護者ともに目標数値を満たすことができた。次年度も引き続き生徒の学力向上に努めていきたい。
		● 理数科生徒及び担当職員課題研究への満足度の向上 ● 各種行事生徒満足度 4.5 以上 (満点 5.0 点)	4.5 点	A	理数科行事に加え、各種講演会や他校の課題研究発表会等に参加することができた。次年度は課題研究の充実・発展に向けて取り組みを進める。
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	●「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と答える生徒・保護者 85%以上	生徒 87.3% 保護者 74.8%	B	生徒に対する進路情報は適切であったが、保護者に対する情報提供が不十分であった。PTA 総会や進路講演会等を通して本校の進路指導を伝える場面・方法を検討する。
		●「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	生徒 90.7% 保護者 77.2%	B	生徒に対する進路情報の提供は適切であったが、保護者に対する情報提供が不十分であった。次年度より、全保護者に対してClassiでの情報伝達が可能となるため、進路情報等の広報を活発に行っていく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	●「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 88.2% 保護者 84.0%	B	おおむね基本的な生活習慣は身につけているが、挨拶については課題が残る。次年度はさらに意識が高まるように取り組みたい。
		●「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる(理解している)」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 83.4% 保護者 89.7%	B	保護者の共感は得られているが、生徒の理解を高める必要がある。校内ルールを理解を高めていくために次年度は掲示等を活用していきたい。
		●「富士高生のモラルやマナーはよい」と肯定する生徒・保護者 90%以上	生徒 78.3% 保護者 94.2%	B	生徒の評価が低い。生徒はどのような点でマナーやモラルが足りないと感じているか、生徒アンケート等を通じて実態を知り、対策を考えていくこともできる。生徒たちの意識を高めるため、部活動や学校行事などを活用していきたい。
		● 国際感覚の涵養等に資する研修会等への参加生徒の増加	39人参加 (16人増加)	A	コロナ禍で中断されていた交流活動ができるようになったため、参加生徒数が増えた。例年実施しているグローバルスタディズプログラムや学校交流なども積極的に広報していきたい。
		● 自転車事故件数 15 件以下	13 件 (12/21 現在)	A	自転車と自動車の接触事故の発生が多くを占めた。自転車通学者も多く重大事故につながるため、交通ルール講習などを実施していきたい。
		●「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒 88.3% 保護者 81.6%	A	スタントマンによる交通安全教室の実施などにより生徒の肯定率は高まった。次年度は家庭と協力しながら交通安全に取り組めるようにしたい。
		● いじめ0件	0件	A	人権尊重の精神を授業や部活動、行事等のあらゆる場面で培う。
		● 非行等の問題行動0件	1 件	B	人権を尊重する意識の高揚により、問題行動を防止できるようにしていきたい。
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	● 学校図書館の蔵書の貸出数 1800 冊以上	1,666 冊 (12/21 現在)	A	LHR の読書活動においては図書委員が運営にあたり、読書への関心を高めた。生徒にアンケートを取り、選書した本を購入して、図書室の蔵書の充実を図った。
		●「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85%以上	生徒 79.5% 保護者 78.0%	B	新型コロナ対策を厳重に行っていた昨年度とコロナが 5 類に移行した今年度 5 月以降で、注意喚起の回数は異なったが、取組に大きな変更はなかった。
		●「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80%以上	生徒 80.3% 保護者 72.1%	B	生徒は「適切に対応している」と 80%以上が回答している。次年度は保護者の安心感を上げるために SC や SSW について紹介していきたい。
		● 学習環境の改善・安全対策修繕 10 ヶ所以上	20 ヶ所	A	職員からの連絡や校内巡視で気づいた不良箇所について、まず現状を確認し、校内修繕又は業者依頼している。次年度も同様に早期対応していく。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	● 週に1回以上、学校ホームページを更新する。	76回	A	校内の教育活動の様子、部活動の実績等の情報を迅速に提供できた。次年度は、より見やすいページを目指して作成していきたい。
		● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者80%以上	生徒 67.1% 保護者 78.7%	C	生徒・保護者とも低い肯定率になっている。ホームページに掲載する記事の内容や紙媒体で配付するべきものがあるかどうか、あるいはホームページを見てもらうための工夫ができないかなどについて再度検討していきたい。
		● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員100%	100.0%	A	職員会議や職員打合せでコンプライアンス通信などを活用した。また、不祥事根絶に向けたグループワークなどを実施し、意識の向上につなげた。
		● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員80%以上	生徒 80.8% 教職員 91.1%	A	防災訓練の内容に「防災クイズ」を導入した。担当生徒が研究し、グループ活動を実施することで生徒一人一人が共有できた。
		● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者50%以上	生徒 51.9% 保護者 64.7%	A	防災訓練や防災講話を通して啓蒙を行い、被災時の行動等について意識が高まった。また、防災の備えについても家族で共有できた。
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	● 監査における指摘0件	0件	A	規則等を確認することはもとより、疑問点は出納機関にも問い合わせることにより誤りを減らすことができた。
		● 経営予算執行残が0.5%未満	達成見込み	A	執行残は目標通りにできたが、そもそもの予算が少ないことが問題である。引き続き予算の増を要望していく。
		● 施設設備における事故発生0件	0件	A	不良箇所の早期対応により事故はなかったが、古い設備が多いため、突発的な故障等が多い。順次設備更新を要望していく予定である。
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	● 1分掌1業務改善の提言	14分掌中 12分掌	A	各分掌で工夫しながら業務にあたることで、多くの分掌で業務改善が行われた。ICT機器を活用することでさらなる業務改善が見込まれる。
		● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動100%	100.0% (12/31時点での平日・休日の休養日数達成率)	A	全ての部活動が、部活動ガイドラインに則った運営を行った。次年度も継続していく。
		● 年休取得前年度比増(最低5日以上)	前年度比 +9.4%	A	夏季休業中などを中心に、年次休暇、夏季休暇等の積極的な取得を呼び掛け、年休取得を増やすことができた。